

すぎなみ教育報

No. 223

平成28年12月7日
(年4回発行)



発行 杉並区教育委員会

CONTENTS

特集1

杉並区中学校対抗駅伝大会2016 …… 2

特集2

オリンピック・パラリンピック教育の推進… 4

学校支援本部の扉① …… 6

すぎなみ教育シンポジウム2016

ここがすごいぞ!! すぎなみの給食① … 7

移動式天文台車

「ボラリス2号」がやってきた

杉並第一小学校ジュニアバンド ほか… 8

友情と信頼をこめて 「たすき」をつなぐ

冬の恒例行事「杉並区中学校対抗駅伝大会」。17回目となる今年も、各校の代表選手がチームの仲間や応援してくれる仲間との友情や信頼をこめて、たすきをつなぎます。

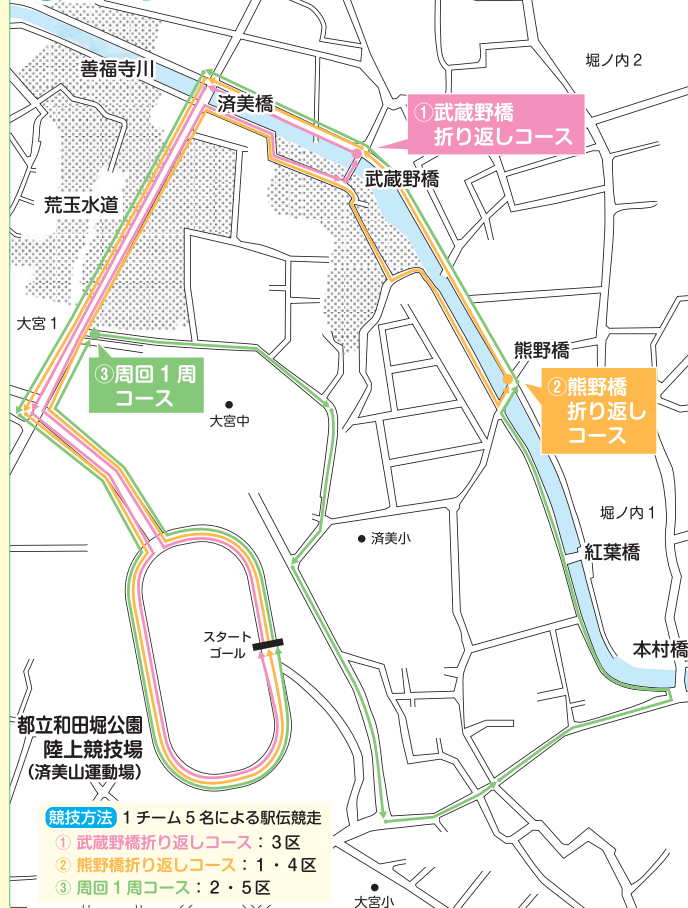
杉並区中学校対抗駅伝大会 2016



毎年の冬の恒例行事として、これまで数々のドラマが生まれてきた「中学校対抗駅伝大会」。今年も400名を超える各校の代表選手が、大会に向けて日々練習を積み重ねています。チームの仲間や応援してくれている仲間との友情や信頼とともに、それぞれの思いを「1本のたすき」にこめて、つないでいきます。

皆さんもぜひ会場に足をお運びいただき、力いっぱい走り抜く中学生をみんなで応援し、感動を分かち合いましょう。

●コース図



競技方法 1チーム5名による駅伝競走
 ① 武蔵野橋折り返しコース：3区
 ② 熊野橋折り返しコース：1・4区
 ③ 周回1周コース：2・5区

12月11日(日)

●大会会場 (スタート・ゴール)
都立和田堀公園陸上競技場
 (済美山運動場)
 (堀ノ内1-15)

開 会 式：午前9時15分
 女子スタート：午前9時45分
 男子スタート：午前10時45分
 表 彰 式：午後0時

※競技の進行状況により、表彰式の時間は前後します。

●参加チーム
 区立中学校・区内私立中学校の生徒で構成する男子23チーム、女子24チームのほか、南相馬市中学生の男女各1チームが招待参加

●コース
 都立和田堀公園陸上競技場 (済美山運動場) ・
 荒玉水道道路・善福寺川周辺の特設周回コース (全長約10km)

第1・4区 済美山運動場 ⇄ 熊野橋
 第2・5区 済美山運動場周回コース
 第3区 済美山運動場 ⇄ 武蔵野橋

「走る」だけじゃない！ たくさんの中学生が 大会を盛り上げます！



①阿佐ヶ谷・東田・松溪中学校
吹奏楽部

3校合同で行う吹奏楽の演奏は迫力十分です。男女スタート時のファンファーレ・表彰式を素敵な演奏で盛り上げます。(開会式・表彰式前にも、5分間の演奏を行います)

②荻窪中学校
和太鼓部

区内で唯一の和太鼓部が、今年も力強いパフォーマンスを披露します。男女スタート時に行う応援太鼓のほか、表彰式前の和太鼓パフォーマンスも必見です。



③泉南中学校
放送演劇部

今年のNHK杯全国中学校放送コンテスト決勝で優秀賞を受賞した放送演劇部が、実況アナウンスを担当します。競技中に目まぐるしく入れ替わる学校順位をお知らせします。

今年の「選手宣誓」選手 (昨年優勝校) にインタビュー！

男子チーム代表 天沼中学校
 大橋 慶幸さん (2年)

昨年は2年振りに優勝することができました。みんなで力を合わせて連覇を狙います。
 僕もチームに弾みをつけられるように、昨年1秒差でとれなかった区間賞を狙いにいきます。



女子チーム代表 富士見丘中学校
 左合 佑衣さん (3年)

今年は3年生2人と2年生5人のチームで、毎日部活が終わった後に、みんなで集まって練習しています。
 顧問の先生の熱い思いとともに、みんなで走り抜いて、今年も絶対優勝したいです。



心のたすきがつなく「絆」 井出隆安 教育長

杉並区中学校対抗駅伝大会は、中学生の体力向上と健全育成を図ることを目的に、毎年12月に実施しています。平成12年の開始当初は区立中学校18校など21校の参加でしたが、現在は、全区立中学校のほか、区の交流自治体である福島県南相馬市の中学生チームも参加しており、今年で17回目を迎える盛大な冬の恒例行事となりました。
 これまでの大会では、男女ともに優勝を果たしたり、最終区間での大逆転劇があったり、雪の舞う中で

の熱戦など、数々のドラマが生まれています。
 駅伝でつながれるのは、出場選手がつなが「たすき」だけではありません。選手の仲間や卒業生、保護者など、応援する全ての方々に「心のたすき」が受け継がれていると感じます。この「心のたすき」こそ、人と人を結ぶ大切な「絆」であると考えます。
 ぜひ、多くの皆さんに会場へ足を運んでいただき、大会に向けて、授業や部活動の合間を縫って練習を積み重ねてきた選手たちを応援してください。そして、力いっぱい走り抜く中学生とともに、感動を分かち合いましょう。

特集2 オリンピック・パラリンピック教育の推進

区立小中学校では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、オリンピックとの交流や障害者スポーツの体験、日本と外国の文化を学習するなど、様々な取り組みにより、オリンピック・パラリンピック教育を推進しています。今回は、その一部を紹介します。



西田小学校

10/24
(月)

ブラインドサッカー 相手の立場に立って考えることが大切

日本ブラインドサッカー協会から講師を招いて、4年生がブラインドサッカーを体験しました。アイマスクを着け、ボールから鳴る音や指示役の声を頼りに、パスやドリブル、的当てゲームを行いました。

子どもたちからは「ブラインドサッカーの選手は耳だけでボールの位置が分かってすごい」「指示役として、目が見えないプレーヤーに的の場所を教えるのが難しかった」などの感想があり、相手の立場に立って考えることの大切さを実感していました。

東田中学校

11/11
(金)

オリンピックとの交流 オリンピックの経験談を聞く

リオデジャネイロオリンピック陸上十種競技の代表選手が来校し、全校生徒に対する講義を行いました。

オリンピックに出場するまでの様々な苦労や大きな怪我をしてから復帰するまでの話などを聞いた生徒たちは、何事にも諦めずに挑戦し続けることの意義を学びました。



中瀬中学校

10/14
(金)

ゴールボール パラリンピアンを迎えて



ロンドンパラリンピックの出場選手とゴールボール協会の講師を招いて、全校生徒がゴールボールについて学ぶとともに競技を体験しました。生徒たちは、パラリンピアンとの交流を通して「障害のある人に対して、自分たちができることは積極的に取り組んでいきたい」との感想をもち、障害者への理解を深めました。



済美小学校

10/14
(金)

茶道体験授業 日本の伝統・文化を学ぶ

専門家と講師を招いて、4年生が一人ひとり実際に茶をたて、茶道の礼儀作法やおもてなしの心について学ぶ、体験授業を行いました。

子どもたちは「茶道の基本は、人に感謝の気持ちを伝えることだとわかった」「茶道に興味をもったので、家でもお茶をたててみたい」と、この体験を通して、日本の伝統・文化の奥深さを学びました。



問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021

学校支援本部の扉

① 富士見丘中学校

卒業生がつなく
学校支援の「輪」

富士見丘中学校の学校支援本部「JOINT」は、地域の「つながり」と「かかわり」を生かした学校支援活動に積極的に取り組んでいます。今回は本部長である宮原弘美さんに、「JOINT」の特色ある取り組みと学校支援のネットワークづくりについてお話を伺いました。

富士見丘中の学校支援本部は、平成21年に、「人と人」「組織と組織」をつなぐ「つなぎめ」でありたいとの思いから、「JOINT」と名付け発足しました。



元PTAを中心にスタートした学校支援本部は、学校が実施していた補習授業の運営を継承することから始め、徐々に先生からの依頼も受けながら活動を増やしてきました。活動の広がりとともに、「JOINT」が認知され、また、本部が在校生の保護者と日頃から交流し親睦を深めることで、卒業後も本部スタッフとして学校を支援する流れが定着しています。

「JOINT」の特色は、授業支援に自校を卒業した大学生がサポーターとして活躍していることです。

より身近な先輩が授業のサポートをすることで、生徒は安心して学習に取り組むことができます。



大学生サポーターは、卒業生の保護者同士や大学生同士のネットワークにより確保しています。自分の

子どもが学校に関わることをきっかけに、卒業生の保護者もスタッフとして関わる新たな学校支援のネットワークがつけられ、学校支援の「輪」が広がっています。

学校支援本部
「JOINT」
本部長
宮原弘美さん



「一人でも多くのスタッフやサポーターとジョイントできることを願っております。活動にご興味をもたれた方はいつでも「JOINT」を見に来てください。」

問合せ：学校支援課 学校支援係

★学校支援本部の活動内容については、「学校支援本部ってなんだろうBOOK」に掲載していますので、詳しくはこちらをご覧ください。

杉並区 学校支援本部

検索

12/17
(土)
開催

すぎなみ教育シンポジウム 2016

保護者・地域・学校の協力で「放課後」文化は、もっと豊かになる

子どもたちの“放課後”の時間は、自然・社会体験機会の減少、孤立しやすい生活環境の広がりなど、様々な課題を抱えています。今回のシンポジウムでは、保護者の方や多くの皆さんと、現状を共有しながら、子どもたちにとってのより良い“放課後”について、参加者全員で展望を語り合い、考えていきます。皆さんの参加をお待ちしています。

【日 時】 平成 28 年 12 月 17 日 (土)

午後 1 時 30 分 ~ 午後 4 時 30 分 (開場 午後 1 時)

【会 場】 高井戸地域区民センター
(高井戸東 3-7-5)

【定 員】 300 名 (申込順)

【申 込】 電話またはメールで申し込み。
メールの場合は、件名「すぎなみ教育シンポジウム」、本文に氏名・電話番号を記入。

【その他】 手話通訳がつかます。

第一部 講演「子どもは“放課後”の体験を通して育つ」



《講 師》竹原 和泉氏
(NPO 法人まちと学校の未来代表理事)

第二部 シンポジウム

《進 行》笹井 宏益氏 (国立教育政策研究所 総括客員研究員)

《登壇者》竹原 和泉氏

齊藤 志野歩氏 (まち暮らし不動産代表)

大島 和美氏 (西宮中学校共育支援本部)

渋谷 正宏 (富士見丘中学校校長)



笹井宏益氏



齊藤志野歩氏



大島和美氏

第三部 ワールドカフェ「みんなで話そう! 考えよう!」

《進 行》小原 潤 (方南小学校校長)

【問合せ・申込先】 杉並区教育委員会事務局 学校支援課学校支援係
電話 03-5307-0756 (直通) ☎: gakkou-sien@city.suginami.lg.jp

ここが すごいぞ!! すぎなみの給食 ①

食への関心を高める「魅力ある献立」

各学校では、給食が食育の「生きた教材」となるよう、魅力ある献立づくりに力を注いでいます。今回は子どもたちの食への関心を高める取り組みを紹介します。



～食文化を学ぶ～ 季節の行事食や郷土料理

杉並区の学校給食は、和食を中心としたご飯献立が豊富です。1月の「七草汁」、9月の「お月見団子汁」などの季節の行事食や、沖縄県の「イナムドゥチ」などの郷土料理も献立に登場し、日本の伝統的な食文化を学びます。

季節の行事食 「お月見団子汁」



～食材に触れる～ そらまめのさやむき

生活科の授業と連携し、1年生が「そらまめ」のさやむきを体験しました。自分たちでさやむきをしたそらまめは、その日の給食の一品になり、そらまめが苦手な子どもたちも、おいしくいただきました。



さやの中には「ふわふわのベッド」のようで、まめが並んでいる様子や黒い筋などを観察しながら、さやむきをしました。

～食への興味・意欲を高める～ 生徒が考えたお弁当給食

1年生が家庭科の授業で考えた献立が、合唱祭の日の弁当給食になりました。「がっしょうさい」の頭文字を取ったメニューで、栄養バランスよし、彩り・味よしのお弁当ができました。学校行事や日々の学習と連携した取り組みにより、子どもたちの食に対する興味や意欲が高まりました。

高南中学校 「弁当給食」



が……がんもの含め煮
つ……つくねだんご
しょう……豚肉の生姜焼き
さ……さつまもも甘煮
い……いんげんゴマ和え

～心ひとつに～♪合唱(唱)景弁当♪

問合せ：学務課 保健給食係

★杉並区では、こうした各学校の魅力ある献立づくりを支えるベースとして、安全性や栄養面を考慮した、毎月の「標準献立」を作成しています。各学校では、この「標準献立」を基に、安全でおいしい給食を提供しています。

移動式天文台車

「ポラリス2号」がやってきた

11/4 (金) ～6 (日)

杉並区の交流自治体・北海道名寄市から、直径40cmの望遠鏡を装備した移動式天文台車「ポラリス2号」が来訪し、柏の宮公園と桃井原っぱ公園で観望会を実施しました。



なよろ市立天文台「きたすばる」職員(技師)の渡辺文健さんより

「ふだん何気なく見ている星空も、大型望遠鏡を通して見るとまた違う美しさがあります。来年1月20日(金)～22日(日)にも杉並を訪れ、観望会を行う予定です。ぜひ、多くの方に足を運んでほしいです。」

※観望会の時間や場所など、詳しくは広報すぎなみ1月11日号、教育委員会ホームページで改めてお知らせします。

問合せ：社会教育センター ☎03-3317-6621

収蔵資料展「家族で語ろう！昔のくらしと今のくらし」
小学校3年生社会科単元「かわつてきた人々のくらし」に沿った内容の企画展。電化製品普及の前後の道具を比較し、かわつてきた道具、まち、生活、意識について紹介します。
【展示期間】平成28年12月10日(土)～平成29年2月26日(日) 【場所】郷土博物館 ☎03-3317-1084

東日本学校吹奏楽大会で2年連続の金賞 杉並第一小学校ジュニアバンド



第16回東日本学校吹奏楽大会（10月10日 府中の森芸術劇場）に東京都代表として出場し、初出場の昨年に続いて、2年連続の金賞を受賞しました。

與那城 ちよこさん（部長）

「演奏曲の『くるみ割り人形』は、3つの場面や、主人公の気持ちを想像しながら演奏するのが楽しかったです。ジュニアバンドの活動で、チームワークの大切さを学び、何事にも集中して取り組む力が付きました。」



菅野 理沙先生（音楽）

「学校生活で、精神面の指導が大事になっています。音楽活動を通して、子どもたちの心の成長を目指して活動しています。」



11/24
(木)

リオ 2016 パラリンピック競技大会入賞 大西瞳さんに杉並区スポーツ栄誉章を授与

大西瞳さん（杉並区在住）は、T42クラス（片大腿切断など）の義足の選手で、走り幅跳びで6位、100mで8位と、パラリンピックの舞台で見事入賞を果たしました。



区長からスポーツ栄誉賞を授与しました。

大西瞳さんのコメント

「パラリンピックは、また戻ってきたいと思える特別な場所でした。2020年の東京大会はさらに特別なものになると思うので、出場できるよう日々努力していきたいと思います。」



◆「すぎなみ学倶楽部」で大西瞳さんを紹介しています。

すぎなみ学倶楽部 大西瞳

検索

教育委員会からの お知らせ

- 今号から、「すぎなみ教育報」がA4判8ページにリニューアルしました。毎号特集ページや連載記事など、掲載内容を充実させ、杉並の教育に関する情報をお伝えしていきますので、今後ともご期待ください。
- 教育委員会の会議は、原則として、毎月第2、第4水曜日に開催され、どなたでも傍聴ができます。会議の日程などは、教育委員会ホームページに掲載しています。

広 告



社会医療法人 河北医療財団

河北総合病院

小児科 発達専門外来

JR 中央線「阿佐ヶ谷」駅 徒歩5分

03-3339-2121（代）

特定非営利
活動法人

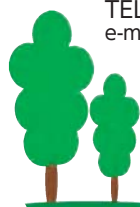
スクール・アドバイス・ネットワーク

PTA 会長・学校教育コーディネーターが作った法人

TEL：03（5347）2372

担当・井上（事務局長）

e-mail：toiawase@sanet.jp



NPO
S.A.Net

- PTA 活動に関する相談・研修会の開催
- 学校支援本部活動に関する相談・研修会の開催
- 英語活動日本人サポーターに関するコーディネートなど

☆学校を支援している方の応援団。
お気軽に相談ください。